



子どもとかかわる プレ・インターンシップ

●社会福祉法人豊徳会

児童発達支援センターきらり

8月8日～8月17日(5日間)

人間形成学科 1年 鍋倉悠那

看護学科 1年 吉丸宏美

●中村学園大学付属あさひ幼稚園

8月9日～8月29日(5日間)

人間形成学科 1年 江間千怜

①

プレ・インターンシップ体験目的

持っている能力を
把握したい

子どもの支援方法が知りたい

足りない能力を
身に着けたい

子どもの個性への
理解を深めたい

子どもとのかかわりかたを学ぶ

②

体験先の事業内容及び活動内容

児童発達支援

日常生活における基本的な動作の指導、知識技能の付与、集団生活への適応訓練など(WAMNET)

●具体的な活動内容

児童の送迎、活動補助(朝の会、プール)、食事介助、遊び

放課後等デイサービス

授業の終了後又は休業日に、通所により、生活能力の向上のための必要な訓練、社会との交流の促進等を行う(WAMNET)

●具体的な活動内容

児童の送迎、活動補助(朝の会、トイレ)、園外活動

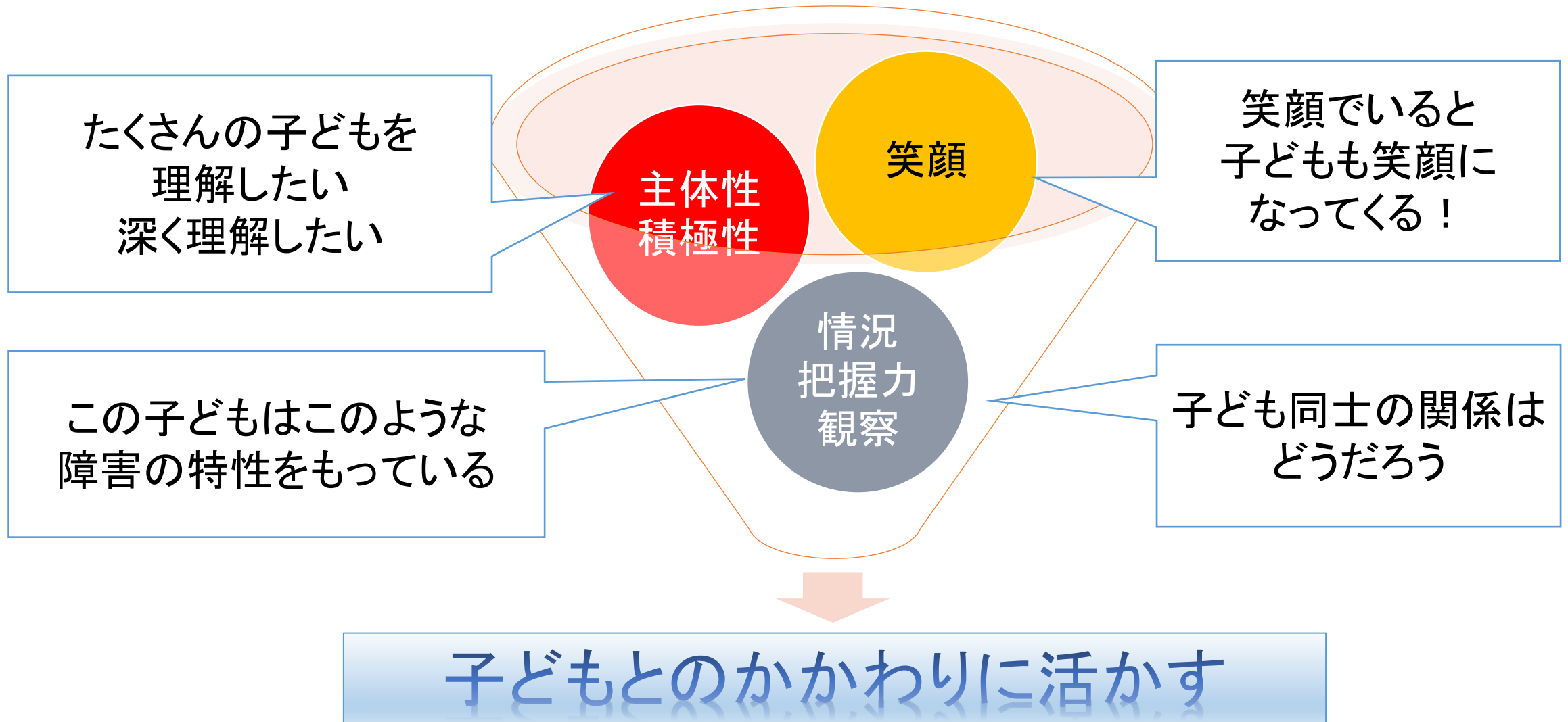
③

体験を終えて学んだこと



④

今後に活かしていくこと





⑤ プレ・インターンシップの目的

幼稚園教諭になるという将来の目標に近づくため

そのために ➡ 子どもと目を合わせて話せるようになる

⑥

体験させていただいた業務

子どもと関わる

- ・ 室内遊び、戸外遊びの
参加・補助
- ・ お昼ご飯と一緒に食べる
- ・ 絵本の読み聞かせ

行事準備・作業

- ・ 園外、園内の掃除
- ・ 園児が昼寝中の間、夏祭り
で使用する道具やゼッケン
作り



⑦ 体験を終えて

実際の現場で保育に携わらせていただく中で、子どもと目を合わせて笑顔で話せるようになった

➡ 日を追うごとに先生方とも目を合わせられるようになった

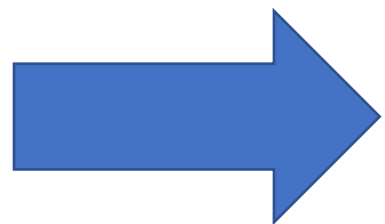
課題克服

子どもの目線で物事を考えることの難しさ

私たちの当たり前は子どもから見てもそうなのか？

⑧ 今後

- 積極的に様々な世代、さまざまな立場の人と話す
- とっさに対応ができるように語彙を増やす
- 様々な目線で物事を考える



これらを常に意識して生活する